

湖畔の風

★ 『ひなまんじゅう』作り

3月1日(土) 振興センターにおいて生涯学習事業「郷土料理教室」ひなまんじゅう作りを開催しました。前回の教室が平成30年1月でその時も参加者が多かったのですが、今回もあっという間に定員になりました。

講師は岩手県食の匠の小原雍子さん(東和町谷内在住)です。

丁寧な指導により、うさぎ、もも、ツバキなど、5種類のひなまんじゅうができました。皆さん大満足でした。3月3日のひな祭りに間に合いました。



中央が小原雍子さん



5種類のひなまんじゅう



熱湯を入れるので気を付けて!



先生の手元を真剣に見ています

★ 健康教室

今年で3回目となる健康教室が1月22日、29日、2月5日、19日、26日と5回開催されました。

3回までは、昨年同様、日本3B体操協会の指導資格者で花巻市の生涯学習講師の冨手京子さんの指導で3B体操やリンパマッサージ、誤嚥予防のお口の体操・のどの体操などを行いました。また、手指を使うことは認知症予防にもなるということで折り紙の夫婦鶴や箸袋を作りました。途中、先生がけがをされて入院という

アクシデントがあり4回目は中止となりました。その後の2回は、小倉地区「ねむの木会」のご協力で元気でまっせ体操を行いました。

毎回平均14名の参加があり、冬場の運動不足解消と情報交換の場になったことと思います。

冨手先生が途中から休まれたのは残念でしたが、アンケートでも皆さん参加してよかったと好評でした。



冨手京子先生



折り紙の夫婦鶴



3B体操のベルタを使って体操



小倉ねむの木会 元気でまっせ体操

★ ゴミの分別講習会



令和6年度生活環境部事業のゴミの分別講習会が開催されました。

ゴミの分別については関心が大きく、沢山のご参加をいただきました。

講習会の内容は、花巻市生活環境課ゴミ減量アドバイザーの高橋邦司さんによる、花巻市のゴミ回収の現状と減量するための工夫の仕方などをお話していただきました。その後の質問タイムには、終了時刻が過ぎてしまうくらい多くの質問やご意見がありました。

燃やせるゴミは、現在岩手中部クリーンセンター(岩手中部広域行政組合)で処理されます。北上市、花巻市、遠野市、西和賀町で運営され、ゴミの量は花巻市、北上市、遠野市、西和賀町の順に多く、ゴミ量の割合に応じて各市や町で経費を負担しています。

燃やせるゴミの多くは紙・布類と生ごみです。これらの減量ポイントとして紙類は資源回収に出し、食品ロスを減らすことです。名刺サイズ以上の紙々類(註1)は紙袋に入れて資源ゴミとして出します。また、食品ロスをなくすために①食べられるだけ購入する、②多く作りすぎない、③食べ残しをなくす、この3点です。あわせて、生ごみの8割は水分なのでよく水切りしてから出してください。

花巻市より令和7年度の家ごみ収集カレンダーと収集分別表が配布されました。一度、ゴミの出し方について確認をしていただきますようよろしくお願いいたします。

各家庭の取り組みでゴミを減らしましょう。

(註1)

◆紙類

○資源回収に出せるもの

新聞・広告・ちらし

ダンボール

紙パック

雑誌

ビール等の紙箱

包装紙・紙袋

ラップ・トイレトペーパーの芯

メモ用紙

○資源回収できないもの(リサイクルできないもの)

感熱紙

カーボン紙

防水加工された紙(紙コップ・皿等)

圧着はがき

臭いのついた紙(石鹸・線香の箱等)

樹脂・アルミコーティング紙

シール

※ 前回の「湖畔の風No.215」に一升びん(緑色・茶色)について、資源回収できないと記載いたしましたが、資源ゴミの搬入業者を変更しましたので回収できることになりました。きれいに洗って資源回収集積所に出してください。



地区の方がたくさん参加しました。



燃やしたゴミの灰からステンレス水筒の燃え残り。分別をお願いします。

かつて田瀬には四つのバス路線がありました。(註1)

4月12日 大事故発生

今年(昭和40年)は昭和で数えれば、昭和100年となりますが、今から60年前の昭和40年4月12日(月)午前7時45分。宮守・白土線の路線バスが、小倉地区(ダム堰堤から1km)で、県道よりダム湖側に転落して多数の負傷者を出すという、田瀬始まって以来の大事故が発生しました。

有線放送で連絡を受けた花巻警察署より10数名、地元東和町消防団第9分団(分団長 大隅広志)40数名、花巻バス本社員、田瀬ダム管理所、地区民が出て負傷者救出や応急の治療にあたりました。

窓ガラスを割り救出、重軽傷者41名

負傷者は、東和消防署の救急車、田瀬ダム管理所などの車で土沢の県立東和病院、宮守の柏原医院、菊池外科医院に運ばれ治療を受けましたが、満員バス転落という大事故の割には死者が出なかったのは不幸中の幸いでした。

これも、当時の通信状況、交通状況の悪い中でこれだけの被害で済んだのは、関係者の懸命な救助活動もさることながら、バス車内が満員のスシ詰め状態だったことが、外傷を少なくした要因だったと思われます。

乗客の一人は、「バスの横転により下敷きになり上の人(乗客)の重さで息が出来なくなり死ぬかと思ったが、一人一人と助け出されて軽くなり助かったと思った。」(横峰・菅原亀三さん)また、「前に乗っていたので、運転席の横のガラスを破り、そこからはい出して助かった。」(中通・菊池盛さん)と、それぞれ語り、悲惨な事故だったことがわかります。

事故の要因は三つあった

第一の原因は、花巻警察署によれば、前夜の雪で道路がぬかるんでいて、運転手は左側の車堀の大きな穴を避けようとして右に寄りすぎ、ゆるんでいた路盤がくずれたのが原因と思われます。

第二の原因は、当日谷内線のバスが谷内峠を雪でスリップして上れず白土から土沢間の通勤バスが運休となり、宮守線に乘客が多くバスのバランスが不安定になっていたこと。

第三の原因は、当日の宮守線の運転手は、予定されていた運転手が欠勤し急に交代となったため、道路事情に詳しくなかったこと、上り8時25分の宮守駅発釜石線に乗り換える乗客があり、急いでいたこと。などが考えられています。

余談ですがこの事故の前日、田瀬中学校の卓球選手育成に功労のあった今西先生の送別会があり、田瀬に泊まった先生は不幸にも事故に遭い、前頭部打撲で二ヶ月のケガをしました。

この事故の根本的な原因は、ダム建設により県道宮守線～玉里線が十分な道路改良がされないまま、応急的に狭小な道幅で供用が開始された県道整備にありました。その後、田瀬地域では県道下宮守・田瀬線道路改良促進委員会(委員長・吉田秀～小田島峰雄～内館桂)を立ちあげ、道路整備について毎年、岩手県へ陳情を続けています。

昭和40年4月13日
朝日新聞全国版掲載



(註1)：宮守～白土線：田瀬のバス路線は、昭和28年に始まる花巻バス宮守～白土間ですが、これは元々昭和26年6月15日、宮守駅～ダム堰堤下・赤沢間の運行に始まり、当初はダム建設作業員と家族のための運行でしたが、堰堤の完成と共に路線は赤沢から旧県道の架設道路で向田瀬を経由して小倉橋を渡り、小倉～田瀬小学校～鳩子沢～終点白土のコースでしたが、29年のダム竣工により現在の経路となりました。その後32年には終点は人首まで延びましたが、6年間で白土終点に戻りました。当初予想された人首までの買い物客が少なかったためです。この路線も51年には岩手県交通が運行、ついに56年には廃止となり宮守線は30年の歴史の幕を閉じました。

宮守～野手崎線：宮守～白土線の太田から樺峠を通る旧107号線で野手崎(梁川)までの線ですが、昭和39年に6年間の運行で幕を閉じました。

谷内線(東和～向田瀬)：東和町発足の昭和30年から、花巻バスが当初は土沢営業所始発、町井、谷内経由で横峰までの運行でしたが、34年から土沢～白土までの運行になり、58年には渡し船「東和丸」の廃止に伴い、黄金沢から向田瀬まで運行しましたが平成元年に34年の運行実績を残して姿を消しました。

北上～釜石線：東北新幹線が盛岡まで延伸になった昭和56年から一日2往復が岩手県交通の高速バスとして運行され、新幹線利用者、北上の高校通学者に利用され、田瀬には「たんせ」停留所が臨時に設けられました。しかし「新花巻」駅の開設と共に利用者が減り、平成3年に廃止されました。

お知らせ！

◎ カレンダー「田瀬の笑顔」令和7年度版完成しました。
ご家庭には1日配布になっています。田瀬のいっぱいの笑顔とごみ収集日等が載っていますのでご活用をお願いいたします。



◎ 令和5年5月より活動テーマを「田瀬湖周辺観光施設を中心とした地域活性化」として活動している花巻市地域おこし協力隊の柏谷恵さんが「田瀬湖周辺MAP」を作成しました。かわいいイラストで観光地やパワースポットが載っています。マップの欲しい方、関心のある方は振興センターに置いてありますのでご覧ください。

4月の行事予定

- ・資源ゴミの搬送 4月8日(火)
- ・令和7年度 第1回役員会 4月15日(火)
- ・令和7年度 総会 4月19日(土)
- ・田瀬湖一斉清掃&ゴミ川柳大会 4月20日(日)

5月の行事予定

- ・各専門部会

編集後記

地区の皆様のご理解とご協力により、令和6年度も無事終了し、令和7年度に突入いたしました。
今年度も田瀬地域コミュニティ会議、「湖畔の風」をよろしく願いいたします。



都合により変更になることもありますのでご了承ください。

田瀬地区の人口

(令和7年2月末現在)

行政区	世帯数	人数			比較 (1月末)
		男	女	計	
田瀬第1	67	77	87	164	—
田瀬第2	29	33	31	64	—
田瀬第3	71	69	82	151	—
計	167	179	200	379	増減なし

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで